

名古屋市感染症発生動向調査情報

2018年(平成30年)第6週(2018年2月5日~2月11日)

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部) 2018年2月14日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- インフルエンザの定点当たり患者報告数は、前週の41.3人から32.5人に減少した。
- 水痘の定点当たり患者報告数は、前週の0.1人から0.2人に増加した。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は、前週の0.9人から1.1人に増加した。
- 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は、前週の0.2人から0.4人に増加した。

〔1類~5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第6週	2類	結核	12	<ul style="list-style-type: none">• 男性、68歳、肺結核• 男性、84歳、肺結核• 男性、91歳、肺結核• 男性、25歳、肺結核• 男性、82歳、肺結核• 男性、24歳、肺結核• 男性、63歳、肺結核• 女性、81歳、肺結核• 女性、63歳、無症状病原体保有者• 男性、55歳、無症状病原体保有者• 男性、81歳、無症状病原体保有者• 女性、42歳、無症状病原体保有者
2018年 第6週	5類	急性脳炎	1	<ul style="list-style-type: none">• 女性、11歳、病原体不明
2018年 第6週	5類	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none">• 女性、33歳、無症状病原体保有者、感染経路：性的接触(異性間)、感染地域：ロシア

2018年 第6週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、76歳、菌検出検体：血液
2018年 第6週	5類	梅毒	3	<ul style="list-style-type: none"> 男性、45歳、早期顕症梅毒（1期） 男性、45歳、早期顕症梅毒（1期） 女性、28歳、早期顕症梅毒（2期）
2018年 第6週	5類	百日咳	2	<ul style="list-style-type: none"> 女性、54歳、抗体の検出による、感染地域：名古屋市 女性、0歳、LAMP法による病原体遺伝子の検出、感染地域：愛知県

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった1類から5類全数報告感染症。

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2018年 第5週	5類	アメーバ赤痢	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、50歳、腸管アメーバ症、感染経路：性的接触（経口・異性間）、感染地域：名古屋市
2018年 第5週	5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、78歳、菌検出検体：尿、菌種：<i>M.morganii</i>、感染経路：医療器具関連感染
2018年 第5週	5類	梅毒	3	<ul style="list-style-type: none"> 男性、29歳、早期顕症梅毒（1期） 男性、46歳、早期顕症梅毒（2期） 女性、23歳、無症状病原体保有者
2018年 第5週	5類	百日咳	1	<ul style="list-style-type: none"> 女性、43歳、抗体の検出による、感染地域：国内（都道府県不明）
2018年 第4週	5類	後天性免疫不全症候群	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、50歳、AIDS、感染経路：性的接触（同性間）、感染地域：国内
2018年 第4週	5類	梅毒	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、39歳、早期顕症梅毒（2期）
2018年 第4週	5類	百日咳	1	<ul style="list-style-type: none"> 男性、80歳、抗体の検出による、感染地域：名古屋市

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2018年1類～5類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

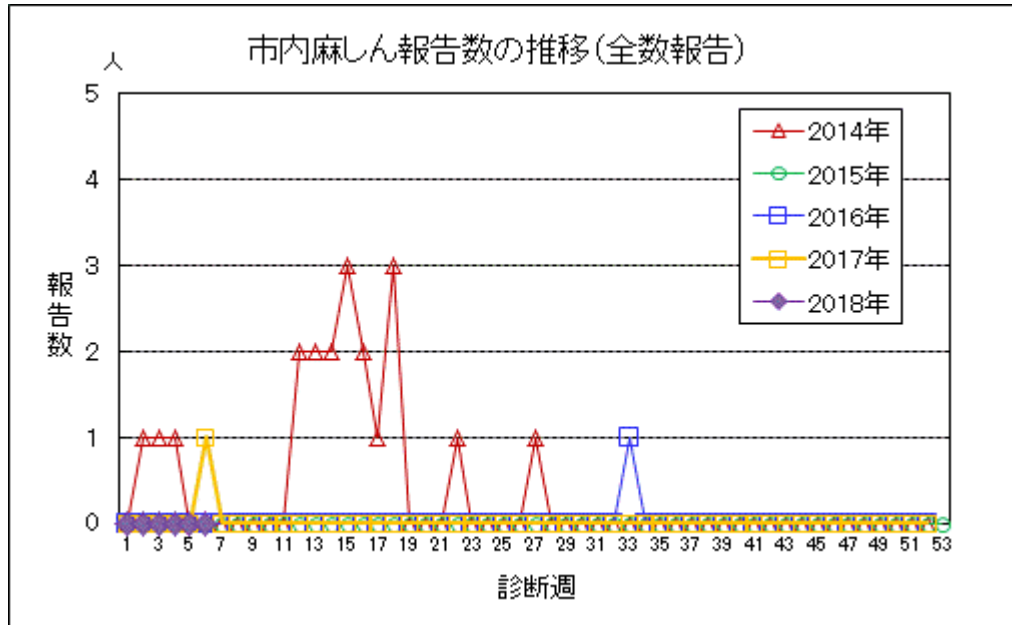
感染症の分類	疾患	累計
1類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2類感染症	急性灰白髄炎	0
2類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	55（13）〔0〕 〔0〕〔0〕
2類感染症	ジフテリア	0
2類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コ ロナウイルスであるものに限る）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
3類感染症	コレラ	0
3類感染症	細菌性赤痢	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0（0）
3類感染症	腸チフス	0
3類感染症	パラチフス	0
4類感染症	E型肝炎	1
4類感染症	レジオネラ症	3
5類感染症	アメーバ赤痢	2
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	6
5類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、 東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー 熱を除く）	4
5類感染症	後天性免疫不全症候群	8（5）〈0〉〔0〕
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	12
5類感染症	水痘（入院例に限る）	2
5類感染症	梅毒	21（4）
5類感染症	百日咳	8

累計は2018年第1週からの診断週による累計、（ ）内は無症状病原体保有者累計数を再掲、〔 〕内は疑似症累計数を再掲、
【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候
群の「その他」累計数を再掲。

対象疾患が多いため、4類及び5類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

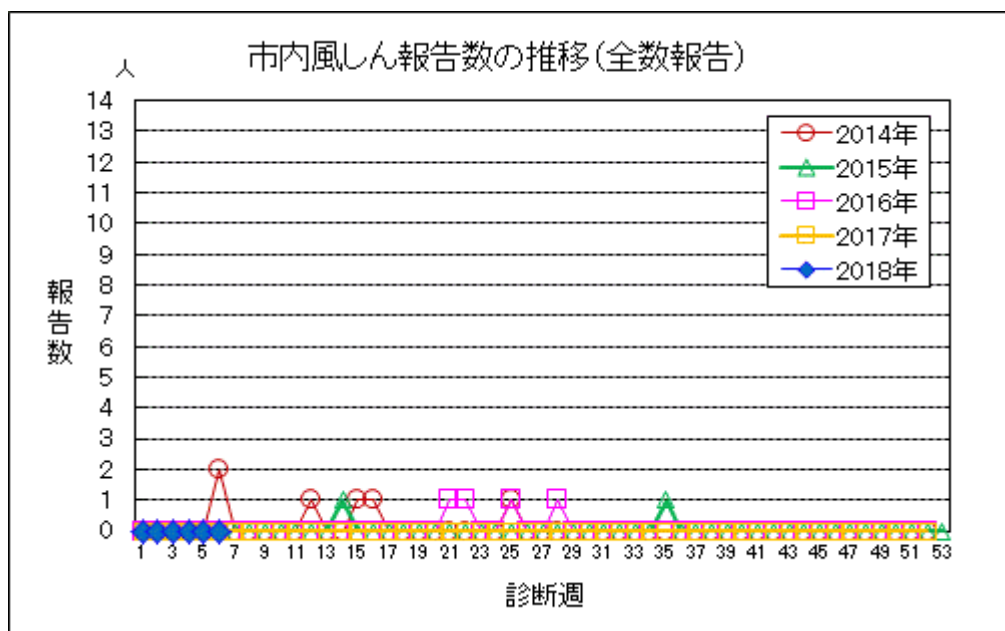
〔名古屋市の麻しん報告数〕



〔愛知県麻しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先(愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>)をご覧ください。

〔名古屋市の風しん報告数〕



〔定点医療機関からの情報〕

インフルエンザA型6人、B型39人	定点医療機関(千種区)
インフルエンザA型8人、B型37人	定点医療機関(千種区)
インフルエンザA型14人、B型34人	定点医療機関(千種区)
インフルエンザA型3人、B型10人	定点医療機関(千種区)
インフルエンザA4名、インフルエンザB19名	定点医療機関(東区)
インフルエンザA6名、インフルエンザB21名	定点医療機関(東区)

インフルエンザA型：2名、B型：2名	定点医療機関（北区）
インフルエンザA 13名、インフルエンザB 25名、同時感染（AとB）1名です。今シーズン3人目です。	定点医療機関（西区）
インフルエンザA型8人・インフルエンザB型11人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型11人・インフルエンザB型36人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型26人・インフルエンザB型5人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型21人・インフルエンザB型26人・臨床診断1人	定点医療機関（中村区）
インフルエンザA型：9名、B型：25名	定点医療機関（中区）
インフルエンザB型：1名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：5名、B型：9名	定点医療機関（中区）
インフルエンザA型：5名、インフルエンザB型：1名、	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：6人、インフルエンザB型：14人、不明：10人	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：10人、インフルエンザB型：15人、不明：3人	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型：6名、インフルエンザB型：5名	定点医療機関（昭和区）
インフルエンザA型 3	定点医療機関（瑞穂区）
インフルエンザA型：6名 ・ インフルエンザB型：5名	定点医療機関（熱田区）

インフルエンザA型：12名 ・ インフルエンザB型：12名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型：9名 ・ インフルエンザB型：11名	定点医療機関（熱田区）
インフルエンザA型10名、インフルエンザB型22名	定点医療機関（港区）
インフルエンザA型3名、インフルエンザB型9名	定点医療機関（港区）
インフルエンザは、A型12名・B型12名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型（男性38名・女性21名）B型（男性2名・女性3名）です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザは、A型1名・B型23名です。	定点医療機関（南区）
インフルエンザA型 6名 インフルエンザB型 19名 インフルエンザ臨床診断 5名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型 14名 インフルエンザB型 20名	定点医療機関（守山区）
インフルエンザA型5名 B型24名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型3名 B型6名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型5名 B型21名	定点医療機関（緑区）
インフルエンザA型20名、B型45名でした。	定点医療機関（名東区）
インフルエンザA型6名・インフルエンザB型30名	定点医療機関（天白区）
インフルエンザA型10名・インフルエンザB型46名	定点医療機関（天白区）

◆2018年第6週 患者報告数（疾病保健所別）、定点あたり患者報告数（疾病保健所別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2018年第6週（2018年2月5日～2月11日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ	187	124	177	154	180	75	109	76	101	151	196	148	231	78	106	179	2272	0.8	1.1
○RSウイルス感染症	1		1	3					1	1		4		1	1		13	0.9	0.8
○咽頭結膜熱	2		1	2								1	1		4		11	0.8	0.8
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	5	8	4	8	1		1	7	4	7	6	8	2	5	2	75	1.2	0.8
○感染性胃腸炎	10	4	18	22	25	4	26			12	45	3	3	4	5	14	195	0.8	0.7
○水痘			1							4		1	2			4	12	2.4	0.7
○手足口病													1				1	0.5	0.3
○伝染性紅斑														1			1	0.5	0.1
○突発性発疹		1		3									1				5	0.5	0.5
○ヘルパンギーナ																	0	0.0	0.0
○流行性耳下腺炎			1			1								1			3	3.0	0.4
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎				4													4	2.0	1.7
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0	0.0	0.0
◇クラミジア肺炎																	0		
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
計	207	134	211	188	213	81	135	77	109	172	248	163	248	86	121	199	2592		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1			1	1	1			1		1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2018年第6週（2018年2月5日～2月11日）

疾患 \ 保健所	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	37.4	31.0	35.4	38.5	36.0	18.8	21.8	15.2	25.3	37.8	49.0	37.0	46.2	19.5	26.5	44.8	32.5
RSウイルス感染症	0.2		0.2	0.8					0.3	0.3			1.0	0.3	0.3		0.2
咽頭結膜熱	0.4		0.2	0.5								0.3	0.2		1.0		0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.4	1.3	1.6	1.0	1.6	0.3		0.2	1.8	1.0	1.8	1.5	1.6	0.5	1.3	0.5	1.1
感染性胃腸炎	2.0	1.0	3.6	5.5	5.0	1.0	5.2			3.0	11.3	0.8	0.6	1.0	1.3	3.5	2.8
水痘			0.2							1.0		0.3	0.4			1.0	0.2
手足口病													0.2				0.0
伝染性紅斑														0.3			0.0
突発性発疹		0.3		0.8									0.2				0.1
ヘルパンギーナ																	
流行性耳下腺炎			0.2			0.3								0.2			0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎			4.0														0.4

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ 太字の数字 は流行発生警報

■ 斜体の数字 は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2018年第6週(2018年2月5日~2月11日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ	4	21	56	74	77	155	155	174	141	113	107	349	102	108	139	173	114	105	54	51

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	4	3	4				1					1		
咽頭結膜熱			4	3	2		2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	8	5	6	11	6	5	10	1	4	11	2	5
感染性胃腸炎	1	2	9	10	5	10	15	5	7	3	6	27	12	83
水痘			1			2			3	1	1	4		
手足口病						1								
伝染性紅斑								1						
突発性発しん	1		2	1		1								
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎								1		1				1

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎						1										1	1			1

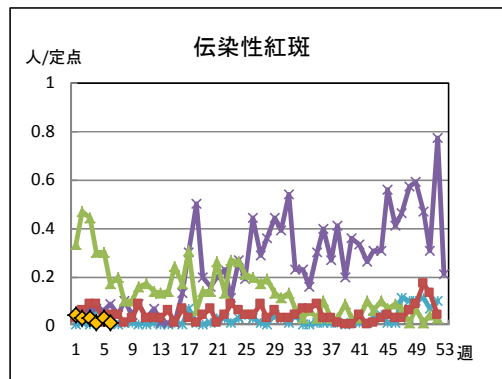
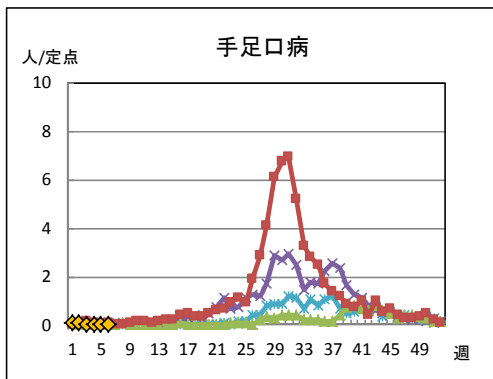
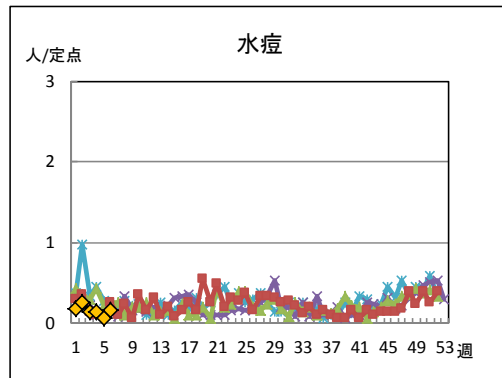
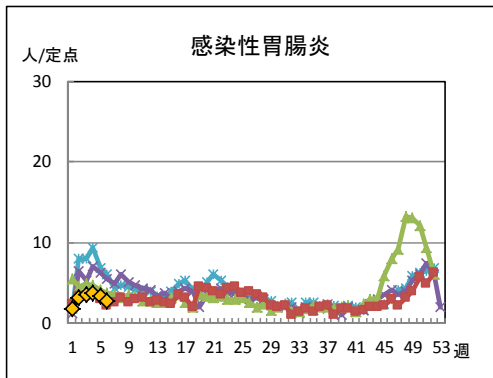
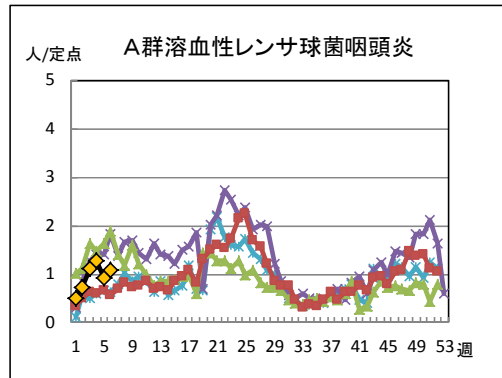
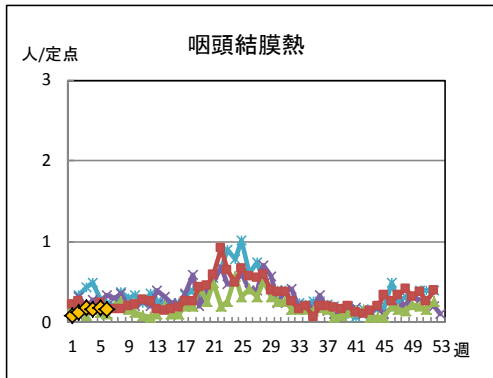
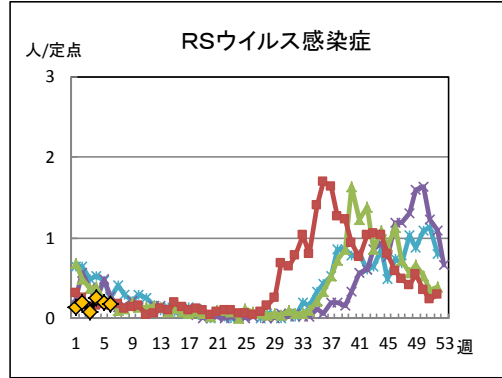
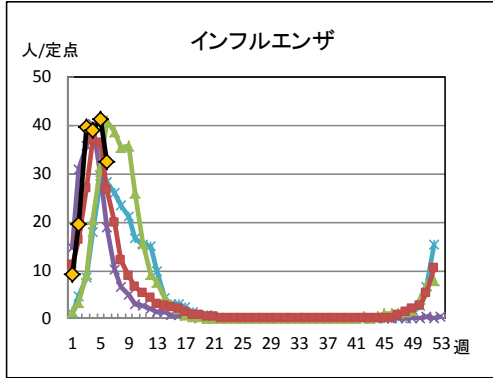
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

〔インフルエンザ入院サーベイランス結果(基幹定点3カ所)〕

【2018年第6週:5件】 【2017/2018シーズン累計数:24件】

- 女性、81歳
- 女性、80歳
- 女性、80歳
- 男性、73歳
- 女性、73歳

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2018年第6週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2018年第6週まで

